

デザインとメディア

Design & Media

近代社会において、メディアはめまぐるしく発展してきましたが、そうしたメディアと人間のあいだをまさに物理的に「媒介」してきたのは、デザイン活動です。

デザイン史学研究会はこれまで、ジェンダーやミュージアム、デザインの歴史性、社会性といったさまざまな角度から、広く社会とデザインを論じる場を設けてきました。本シンポジウムでは、「メディア」に焦点をあて、メディアとしてのデザイン、あるいはメディアのためのデザインの働きについて、20世紀から今日までを射程にいれて考察します。

◎日 時：2008年7月12日(土) 14:00～17:00

◎会 場：津田ホール会議室 T101・102

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-24

<http://tsudahall.com/THHP2/mainindex.htm>

◎参加費：一般1,000円、学生500円、研究会会員無料

◎プログラム

13:30 受付

14:00 羽原肅郎氏(デザイン評論家)

「タイポグラフィにおける可読性と品位について」

14:30 宮崎紀郎氏(千葉大学グランドフェロー)

「メディアデザインがつくるもの—「ライフ」の写真をたぎって」

15:00 原田 泰氏(千葉工業大学准教授)

「ディスプレイ表示を前提としたビジュアルデザインの手法」

15:30 森山朋絵氏(東京都現代美術館学芸員・東京大学大学院情報学環特任准教授)

「メディアアートの最前線」

16:00 パネルディスカッション

17:00 閉会

◎デザイン史学研究会

E-mail: designhistoryworkshopjapan@hotmail.com

URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/dhwj/index.html>